

直江津 う
みのまち展
2021

その1 9/3 (金) 9/4 (土) 9/5 (日)

10:00 ~ 17:00

村山陽 / ひぐちキミヨ

その2 9/18 (土) 9/19 (日) 9/20 (月・祝)

10:00 ~ 17:00

寺尾昭人 / 石田ケンイチロー / ひぐちキミヨ

場所 エルマール 1F イベント広場

村山陽



- 1931年 西蒲原郡巻町（現在新潟市西蒲区）に生まれる。
- 1955年 新潟大学教育学部高田分校を卒業し、高校美術教師を務める。卒業制作の「唱和す」が日展初入選。のちに日展会友。
- 1965年 一水会展の「蹄鉄を打つ」が一水会賞受賞。のちに一水会委員。
- 1973年 児童文学者杉みき子氏との絵童話「火をありがとう」を出版。出版以降多数挿絵を担当する。

※一水会委員、日展会友、新潟県美術家連盟参事

上越地域の四季折々の風景を愛しその時その時代を描き続け、昨年12月に死去。

2017年（一社）アトリエ村山陽を設立し絵の管理やカレンダーの製作を行う。

イシダケンイチロー

2020年3月末で35年間のサラリーマン生活に区切りをつけ、創作活動に入る。

翌2021年2月に何とか念願のアトリエを構え、以後はよそ見をしながらアクリル絵の具を薄く塗り重ねた抽象画を中心に、身近な風景とオブジェを組み合わせた画像等を制作し、フェイスブックにUPしている。

20代後半に地元の若手作家達とアトリエ・ドレメを立ち上げ、互いに触発し合いながら好き勝手に制作してこられたことが現在の活動の源流となっている。

今回は今までに制作してきた作品達をCDのジャケットに見立て、12cm四方のサイズに修正し、プラケースに入れて展示する。見た人それぞれが好きな音楽や思い出の画像を包むパッケージとして想い思いに鑑賞して頂きたい。



ひぐちキミヨ

- 1958年 東京生まれ。
- 1978年 武蔵野美術短期大学生生活デザイン科卒。CMプロダクション勤務後、フリーのイラストレーターとなる。主な仕事の一部として、朝日小学生新聞、中学生ウィークリー連載、FM横浜プレ開局ポスター制作など。
- 1992年～ 上越市で暮らし始める。上越市景観情報誌の編集、イラスト制作、各種MAPイラスト制作。新潟市 新潟を表現するポスター展に参加。上越市、長岡市にての展示。上越地域を描いた絵は600作以上。Facebook、Twitter、Instagramで情報発信中。



寺尾 昭人



- 1968年 上越市生まれ。
- 1987年 高田高校卒。
- 2002年 印刷部全般・看板サイン全般のデザイン制作・施工を行う広告代理店を起業。
- 2015年 北陸新幹線上越妙高駅開業に伴い、全ページ桜のロケーションで構成したオリジナルの年度カレンダー「サクラ・花恋ダァ」を発売。上越市の観光イメージポスター(5種)の制作も手がけ、観光などの流動人口増加による地域経済の活性化を目指し日々発信している。

■ 主な受賞歴 ■

- 2015年 「富士フィルム主催 日本の桜フォトコンテスト」グランプリ受賞
- 2016年 「内閣府主催 伊勢志摩サミット世界に届けたい日本の風景」コンテスト ライフ部門入賞し写真集に掲載
- 2018年 日本観光振興協会主催 第67回日本観光ポスターコンクール」WEB投票部門6位入賞 など
- 2021年 8月 UX テレビ新潟 21 のドキュメンタリー番組「ムーンボウを追え!」-妙高苗名滝の奇跡の月虹-に出演